

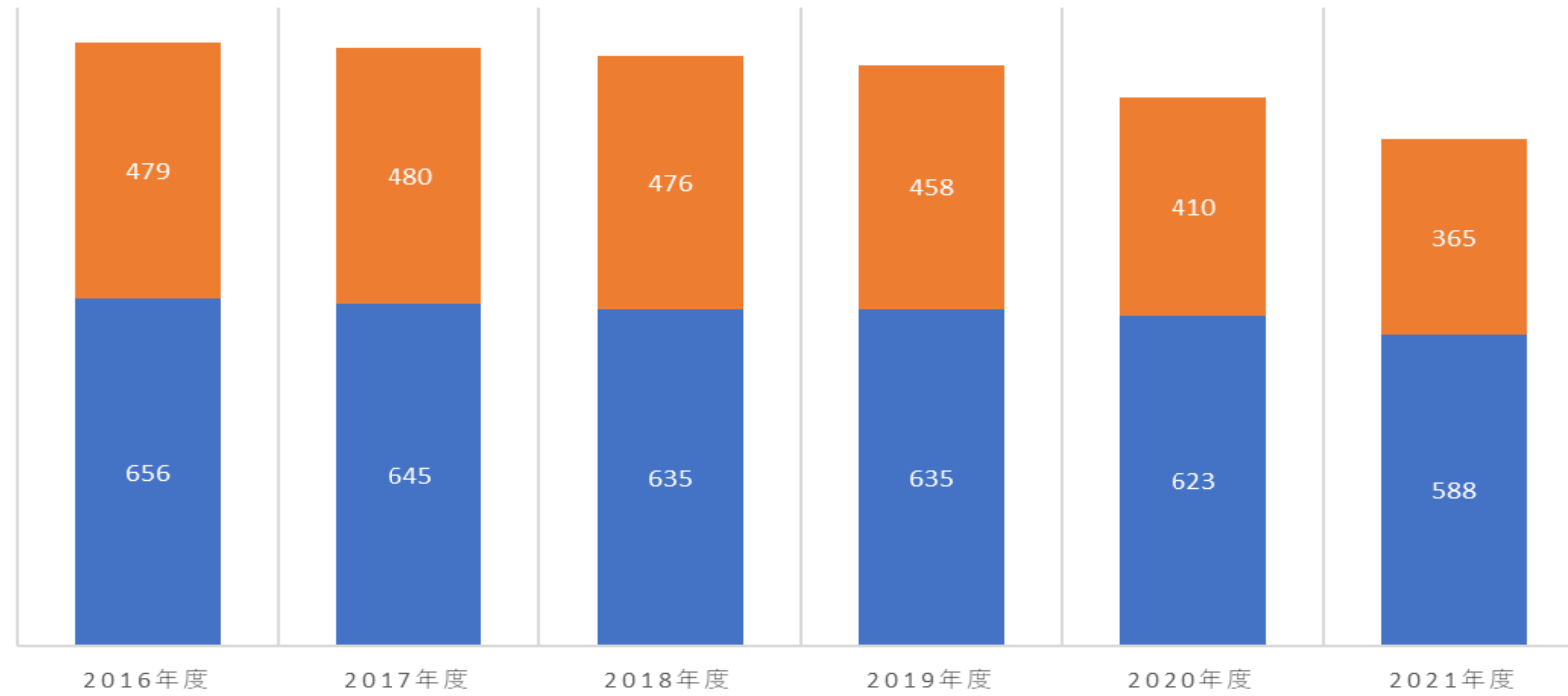
アンケート結果から読み解く課題

2021年 第2回団委員長会議

2021年11月14日(日)

会員数推移

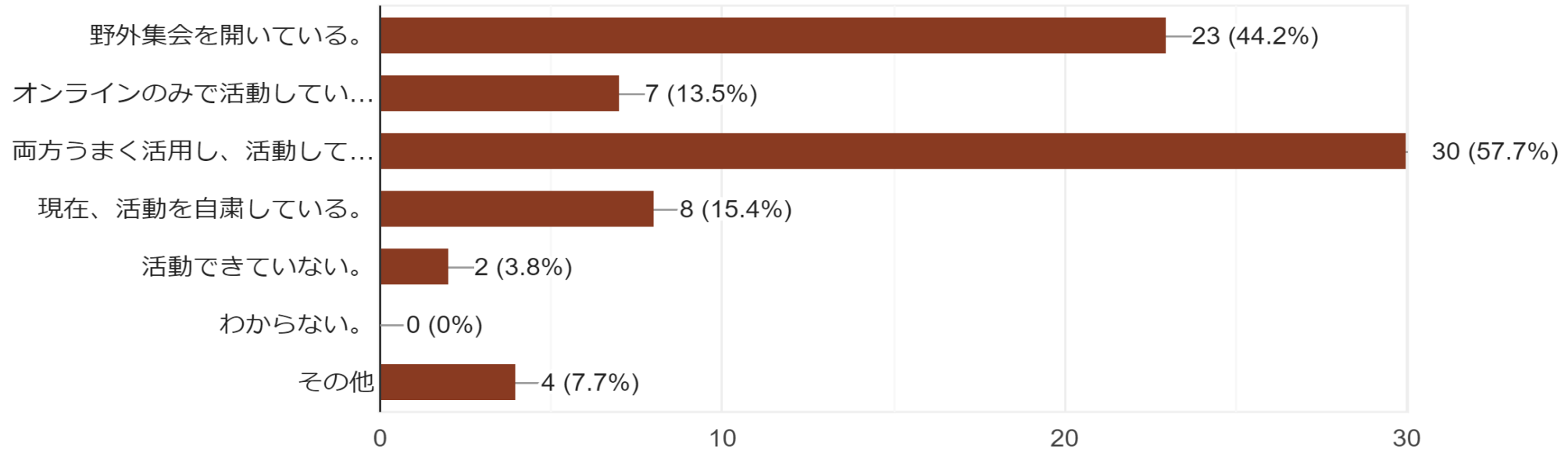
■成人 ■少女



年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
成人	656	645	635	635	623	588
少女	479	480	476	458	410	365
合計	1135	1125	1111	1093	1033	953
前年より		-10	-14	-18	-60	-80

1-1,コロナ禍のここ一年半の、団の集会について教えてください。（複数回答可）

52件の回答



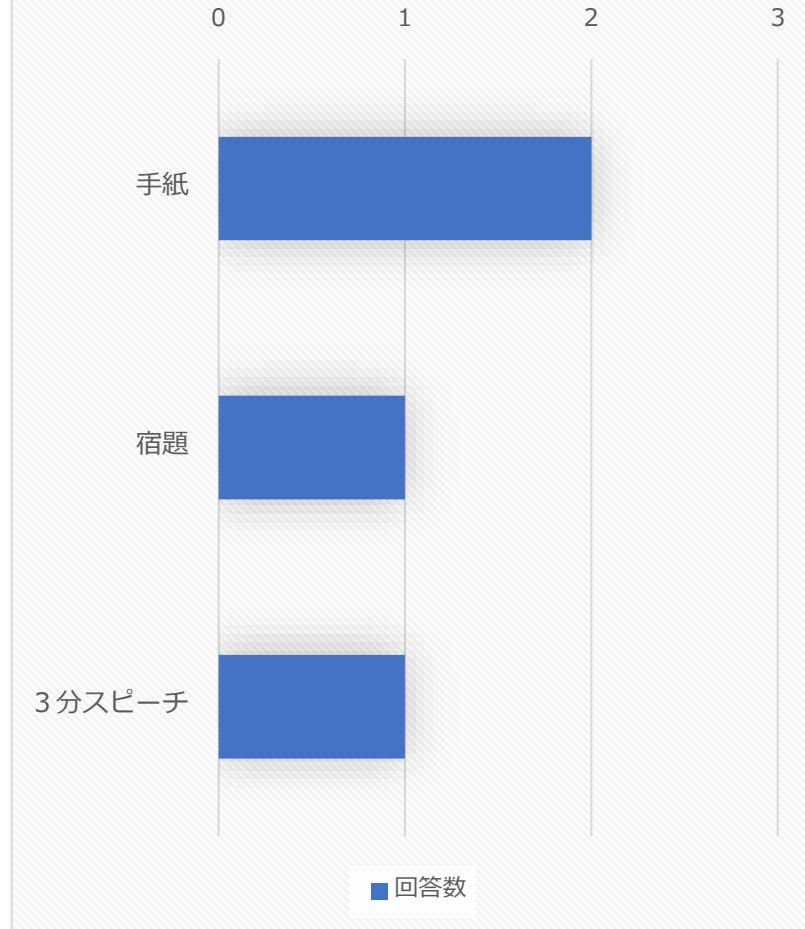
その他と回答された方

緊急事態宣言期間中は活動を自粛しました

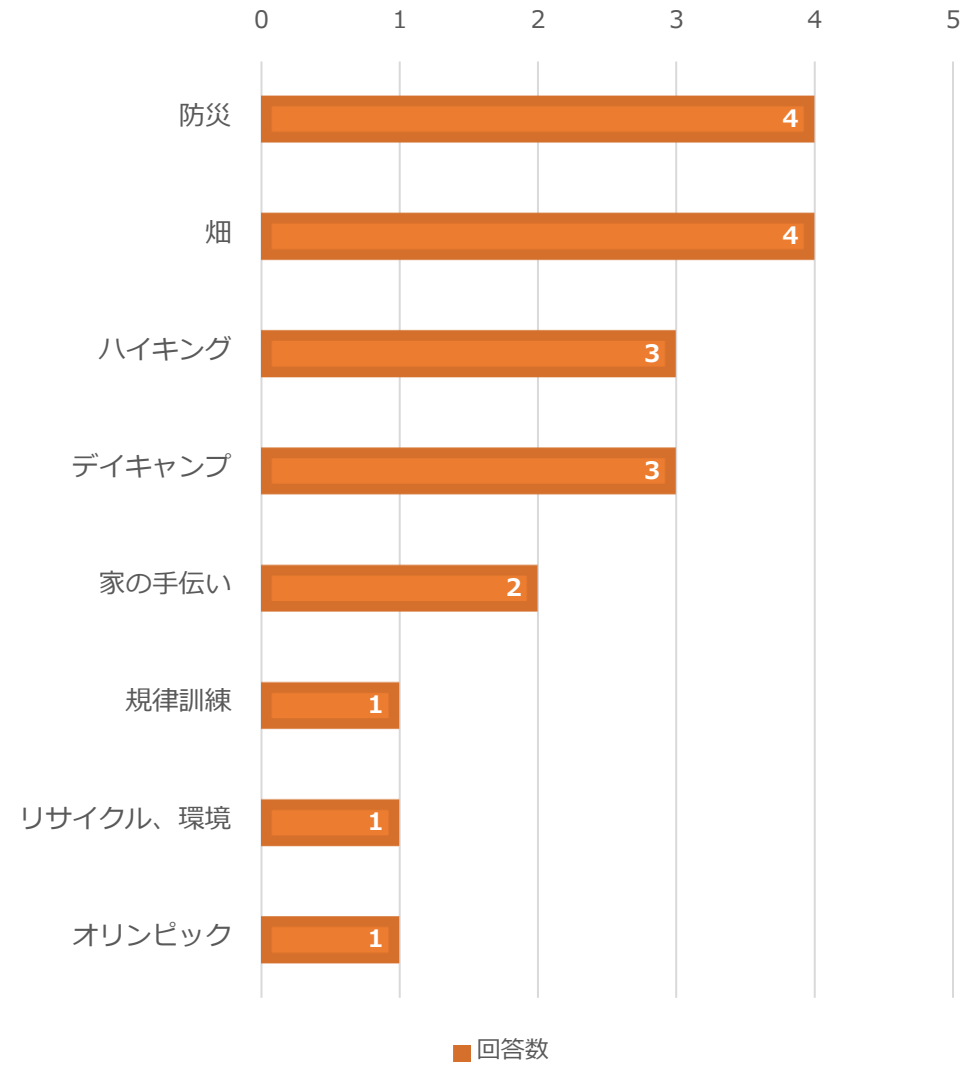
コミセンなど利用可能な時期は、室内集会も行なっていました

警戒度が4以外は公民館の利用ができたので密を避けて集会を実施した

オンライン



野外



野外集会やオンライン集会で、どんな工夫をして、どんな集会をしましたか。具体的にお書きください。

オンライン集会例

- ・オンライン集会は事前に課題や資料を手紙で送って行っている。
- ・シニアレンジャーはオンラインにてプレゼン集会を行ない、「生まれ変わったらなりたいもの」を題材とし3分スピーチをしました。ブラウニーは長く出来ない為、途中で終了しジュニアはそのままオンライン集会を続けたりもしました。
- ・事前に資料を配布してからリモートで防災食の作り方などを学び、その後各家庭で作ってみて画像を送り合い感想を話したりしました。
- ・オンライン集会で、スカウトの顔を実際にみながら楽しく話し合いを進めています

野外集会例

- ・野外にて「お花植え集会」花苗、土、肥料、プランターなどを用意して、スカウト達がお花の彩りなどを考えて植え込み、会館に飾って頂きました。
- ・防災に役立つ野外料理。
- ・ローリングストックを使ってオンラインで料理 年長部門 環境に応じてハイブリットでの活動を行った。
- ・野外集会では、じゃがいも植え、じゃがいもの収穫をしました。時間と担当を決め密にならないようにローテーションで、種芋を切ったり、植えたり、肥料をまいたり、お芋を掘ったり、運んだり、全作業を体験できるようにしました。

両方活用

- ・今まで通りに活動はできていないが保護者の理解はえられている。

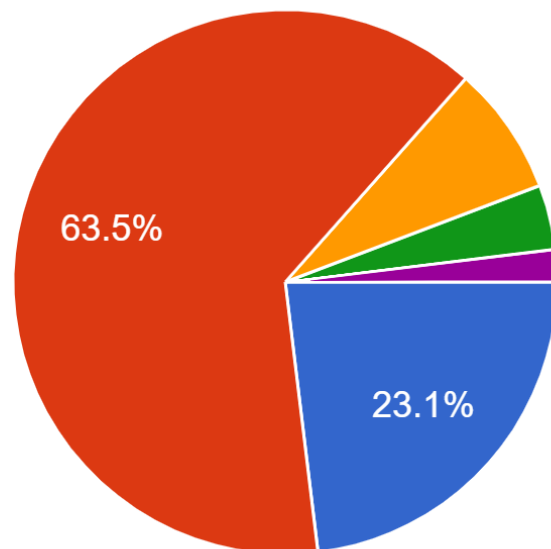
年少部門は「力を合わせて環境マークを集めてみよう」の内容で市内のスーパーに行き、どの商品に環境マークがついているかどのようにリサイクルされているか調べてみた。年長部門はオンラインで連絡を取り合っている。

- ・入団式も野外と室内でソーシャルディスタンスを守りブラウニー物語をしてジュニアからお祝いのメッセージを送った。オンラインは家の中の宝物を見せてもらったり宿題を出しておいて答えてもらう。

- ・年長部門は、オンラインを中心に活動。年少部門は、活動中止になった時は、バッジに繋がる課題(宿題)を締切期日指定で出し、リーダーに提出し、夢新聞に掲載し、皆で共有している。

2-1,団委員長として、団の成人会員や保護者との関わり方について教えてください。

51 件の回答



- 成人会員や保護者と今までと変わらず交流している。
 - 成人会員や保護者との交流は減っているが、連絡は取っている。
 - 成人会員や保護者と交流があまり出来ていない。
 - わからない。
 - その他
- 7.5% ● 3.8% ● 1.9%

その他と回答された方

保護者会を月1回zoomミーティングしていますが、出席された方はお顔を見て話ができますが、欠席された保護者へは団からの一方通行の議事録の報告だけになってしまっています。

グループラインで情報確認。

ラインやメール連絡の際に「ブラウニー向け」「指導者向け」等を付け足し、工夫して発信。

成人会員や保護者との関わり

課題

- ・新しく入団した保護者とのコミュニケーションが取りにくい
- ・活動が出来るようになり何年か経った時に経験が少ない方達になるのでどうなってしまうのか少し心配です
- ・新規にリーダーを作ることがなかなか困難です
- ・仕事と塾への送迎、部活の送迎など、お母様方は多忙。父親の協力が少ない
- ・投げかけても返事がこない。
- ・コロナ禍であるので仕方がないこと。お互いに気を使っている。

コミュニケーション不足について

野外や対面で活動が出来るようになったら、会員と、コミュニケーションをよく取ることなどが主な対策です。

野外集会なら、見に行ってみよう、参加してみよう、という保護者はいます。

具体的には

- 団委員長や、指導者が話しやすい雰囲気をつくる
- 手伝ってもらい、活動に巻き込む
- リーダー講習Aを受けてもらう(ガールスカウトの基本を学べます)→その先→

というのが理想です。

- ZOOMで保護者会、シニアレンジャーと一緒にZOOM、などチャレンジしてみてください。

他の傾向

- ・特に気にはしていない様子です。
- ・集会に保護者も出来るだけ参加してます。成人会員にも声掛けしてお手伝い助言をいただいています。
- ・ガールスカウト活動に望む事にぶれはないので、年齢に合わせた集会提案をすれば良いと感じている。
- ・普段あまり参加しない保護者も野外活動だけ参加が増えた。
- ・対面出来ていないのでなるべく連絡してモチベーションアップして貰うようにしている。やはり会って話しをするのが大事だと思いました。

その他

- ・ キャンプがしたい
 - ・ 早く、対面の事業が出来る事を願います。
 - ・ 県連からのガイドラインを参考にし、これからも活動を行います。そして早く収束を願います。
 - ・ 月始めに私の携帯の中にある昔の画像を連絡網に送っています。その月にどんなイベントや活動をしていたかが分かり、懐かしむスカウトや入団していなかったスカウト達にもこんな事が出来るのかと楽しみにしてくれたりと思っています。
 - ・ 年少部門の10月の事業は大変良かったと思います。楽しかったようです。
 - ・ 先日の県連年少部門の開催、久しぶりの全体活動が、コロナで制限され、我慢の連続だった皆の気持ちを解放し、また今後の活力になりました。ありがとうございました。
- ようこそ！ガールスカウトの森へについては全員参加のお返事でした。久々の野外で保護者同士も互いに近づくことが出来ました。

アンケートへのご協力
ありがとうございました。